



奄 美 市
市制施行20周年

安田壮平奄美市長“しあわせの島”実現に向け2期目スタート



奄美市長 安田 壮平

任期満了に伴う奄美市長選の当選証書付与式が市役所で行われ、安田市長は「2 期目の当選証書をいただき、その重みを実感しています。抱える問題、課題は多いが、ひるむことなく、さまざまな政策や新しい取り組みに挑戦していきます。職員と一丸となり、市民、民間との協力を大事にしながら課題に当たれば、必ず突破できると信じて頑張りたい」と抱負を述べました。任期は、2029 年 11 月 30 日までの4年間です。

(株)しまバス バスの現在地が分かる！新アプリ試験運用中

バス停での待ち時間のストレス解消に、観光や通勤・通学にも便利な“見えるバス”へ！
使い方はとても簡単で、アプリをダウンロードする必要はありません、右記 QR コードを読み込むだけ。バス停を選択するボタンがあり、選択したバス停から時刻が検索され、バスの現在地と運賃も表示されます。”見えるバス“は現在地がわかるので、
「バス遅いや～、まだか～い」というのが解消されそうですね。👍
奄美へ行ったら、空港バス利用または路線バスの検索にぜひご利用ください。



「AI コクトくん」をご存知でしょうか

AI(人工知能)を利用した自動会話プログラムで、お問合せに対して生成 AI が自動的に回答します。運用期間が浅いためにお答えできないこともあります。最近では奄美市の基本情報や市内のゴミ出しルール、観光についての質問の答えなどをみると格段に向上していると感じています。AI コクトくんは 24 時間回答できます、市役所が開いていない時間帯・休日など、いつでもお気軽にご利用ください。＊「AI コクトくんに聞く」は、奄美市ホームページのトップ画面右側に表示されています。



AIコクトくんに聞く

- ※ 単語ではなく会話形式でお尋ねください。
- ※ いたずらの質問はお控えください。
- ※ ホームページの確認事項を読み、正しくお使いいただきますようよろしくお願いいたします。

奄美市制施行 20 周年記念「コクトくん」LINE スタンプのご紹介

公式キャラクター「コクトくん」の LINE スタンプを販売中です。英語版も同様に販売しています。販売で得られる収入は、世界自然遺産登録地域の環境保護や啓発活動の貴重な財源として活用させていただく予定です。

奄美の方言であいさつするコクトくんの一例

**あげ～、あぶじ～、ど～かど～か、すみようらん、がしど！
使ってくれたら、コクトくんほーらしゃど！**



■ 里綾実選手(奄美市出身)ロサンゼルス入団へ



来年8月に開幕が予定されている米国女子プロ野球リーグ(WPBL)のドラフト会議で、奄美市出身の里綾実投手(35)が1巡目全体2位でロサンゼルスに指名されました。指名の際には「女子野球界で最も技術に秀でた投手としていられている」と紹介された里投手。「最高のステージで自分がどこまでやれるのか試せる事が楽しみだし、世界中の仲間たちとプレーできることが待ち遠しい」と喜んだ。

里投手は、女子野球ワールドカップに2010年から昨年まで6大会連続出場、史上最多の3度のMVPに輝くなど、日本の7連覇に大きく貢献しています。

今季はカナダの男子独立リーグ(IBL)、トロント・メープルリーフスと契約し、13試合に登板しました。「107年の歴史あるIBLで世界初の女性選手としてマウンドに上がった日の大きな歓声は野球人生で一生忘れることはない」などとシーズンを振り返りました。

女子プロ野球リーグの開幕に向けて、「挑戦する場がどこであれ毎年変わらず『今シーズンの自分を超える』ことを目標に掲げオフシーズンを過ごしています。来シーズンの開幕も応援してくださる皆さんに成長した姿をお届けできるよう精いっぱい頑張りたい」と意気込んだ。

渡米時期は未定だが、年明けに地元奄美で自主トレーニングを行う予定で、島の子どもたちへの野球指導も計画しているという。里投手は「奄美からたくさんの女子プロ野球選手が出てくることを願っている。野球をやっている女の子、頑張れ!」とのメッセージも寄せた。(地元新聞記事より抜粋)

■ 大相撲九州場所～奄美群島出身力士の活躍は・・・



奄美群島出身力士には特別な九州場所。幕内の明生が場所前に腰の手術をした影響で初日から休場していましたが、途中出場をし、勝った時には大歓声があがっていたのが印象的でした。幕下以下の奄美群島出身力士も、10名中8名が勝ち越しを決めており、一年を締めくくるいい場所になったのではないのでしょうか。幕下では、4名の力士が勝ち越しています。

十両を狙える位置に番付が上がっていき、幕内経験者や実力のある力士との対戦が増えると思いますが、怪我なく番付を駆けあがってほしいと思います。そして、来年の九州場所では、関取になって地元九州へ凱旋してほしいです。 **きばりよ～!! どすこ～い、どすこ～い**

今年も残すところあとわずかとなり、早いもので今年最後の「かわら版」となりました。

奄美市東京事務所へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

故郷奄美では今年、物価高騰に伴う離島地域の物流や生活コスト高の問題、野生動植物の島外への持ち出しや、蘇鉄のカイガラムシ被害のまん延などの様々な問題が生じ、今もなお、官民一体となって解決策を探っているところであります。

2026年は、奄美の世界自然遺産登録から5周年を迎える年で、沖縄や奄美各地で記念イベントなども予定されており、観光産業のさらなる活性化が期待されるところです。

来年の干支は、60年に一度の「丙午(ひのえうま)」にあたり、情熱と推進力にあふれ、物事が大きく発展する年と言われています。

来年も引き続き、「しあわせの島」の実現に向けて、皆様方のお力添えをいただきますようよろしくお願い申し上げます。

2026年が皆様方にとりましてより良い年でありますようお祈り申し上げます。

奄美市東京事務所 所長 赤崎広和